

浜松湖北高校生が地元企業の魅力を発信する授業開始！



エネジンの担当者の説明を受け、話し合う生徒
＝浜松市北区の浜松湖北高

高校生の視点で企業紹介

浜松湖北高 エネジンと企画始動

浜松市北区の浜松湖北高商業科3年生30人と同市中区の総合エネルギー会社「エネジン」が協力し、地元の中小企業を取材して魅力を発信する授業がこのほど、同校で始動した。生徒は、企業の社長や従業員へのインタビューを経て高校生目線で記事を作成し、ブログなどで紹介する。初回授業では、同社営業企画部の佐藤真菜さんが、同社が会社紹介や取り組んでいる地域貢献活動を説明した。「授業を通じて、企業の魅力を知り、地元への愛着を深めてほしい」と話した。生徒は5グループに分かれ、高校生にできることについて話し合った。今後は製造業、販売業など市内約20社を訪問し、取材活動に臨む。介護職に興味を持つ久保亮子さん(17)は「高校生が関わることがない人にも届く記事を書きたい」と意気込みを語った。授業は、生徒自身のスキルアップや若者の人口流出防止、Uターン推進などを目的に2016年度から実施している。

(細江支局・大石真聖)

浜松湖北高校にて地元企業を取材し、魅力を発信する授業が今年もスタートしました！講師は当社の社員で行い、ブログや紙媒体、PR動画で取材内容を発信していきます。高校生が企業と直接話をする場を得ることで、やりたいことを見つけるきっかけになると同時に、地元企業の魅力を地元の人たちに知ってもらい、地域活性化に繋げることが出来る取り組みです。今後、随時更新される高校生の取材記事を載せたブログやチラシをぜひご覧ください！

令和4年(2022年)4月30日(土)

静岡新聞

